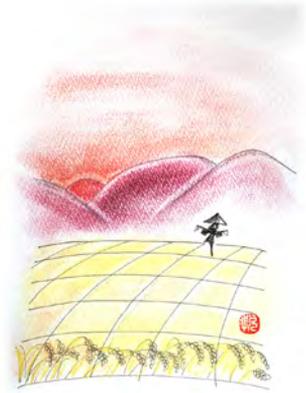


てんぎょう 轉教

2016 10 OCT

平成 28 年 10 月 1 日発行
第 17 卷第 11 号 通算 200 号
編集兼発行人 山本 久男
発行所 佛立本旨講 妙應寺
〒 113-0021
東京都文京区本駒込 6 - 6 - 11
☎ 03-5319-3490
FAX 03-5319-3491



題 字：水谷日尚上人
(Web 版)

ご奉公のこころ

生きている仏様

信仰心を持つことが大事だと言われ
ても、教えの内容がどんなものか詳しく
読んだこともないし、自分にどうプ
ラスするか明確には分からないので、
取り敢えず無関心を装っている、とい

う方も多いのではないでしょうか。

信仰心を持つとは、例えば「目に見
えなくとも仏様が生きていらして見
守っていてくださる」と信ずることが
ら始まります。すると人が見ていなく

水谷 信 洋

でも仏様が見ているから不誠実なこととはしない、という道徳心が芽生えますし、コツコツと骨身を惜しまぬ努力はきつと報われるという信念を持つことも出来ます。ですから、詳しいことは知らなくとも、目に見えないが仏様が見守っていて下さること考えることは大いに意味のあることなのです。

しかし、そうは言っても自分がそう考えるという「思い込み」だけでは、生きる苦しみを乗り越えるほどの力にはなりません。また、日によって生きている仏様の存在を信じられる

日もあれば信じられない日もあるという不安定なものになってしまいかねません。そこに、しつかりとした考え方や基軸きじくとなる教えが必要になります。教えに沿ったそ「生きていらっしやる仏様が見守っていてくださる」という信仰心を補強する心得が要るのです。例えば、敬うやまついの心、感謝の心、喜びの心、謙虚けんきょさ、仏様が生きていらっしやると信じ切れない自分への反省の心、等々がそれです。もともと、法華経という御経文は仏様が亡くなった以後に生まれてくる人々の苦を救う為に説かれています。そ

こには、仏様が人々を救い寂光に誘うための指導方針が込められています。それを整理してまとめると、懺悔・勧請・随喜・回向・発願の五つ（五悔）になります。

生きていらっしやる仏様の存在を信ずることが信仰心の中心とすると、疑い迷いを起こしたことをお許しくださいという懺悔言上、生きている仏様や諸菩薩方や十界の聖衆の御魂をお呼びする勧請文、仏様のご守護に対する感謝の心、今まで頂いたご守護を他の人々にも伝える菩薩行に生々世々にわたって励みますと

いう御誓い、等々の心得が我々の信仰心を支えてくれるのです。

この五悔を、法華経が伝えられてきた経緯や、日蓮聖人以来伝承されてきた妙法信仰の歴史を踏まえ、開導聖人がまとめて下さったのが「妙講一座」です。一つ一つの語句は難しく分かりにくいものもあります。が、御題目口唱をはじめめる前に「妙法蓮華経」は生きていらっしやる仏様だと信ずる心を整えるために読み上げる大切な心得です。仏様は生きていますと信じましょう。

10月のご奉公のすすめ

今月は高祖日蓮大士お祖師様のご祥月です。どんな問題も必ず乗りこえさせて頂ける「佛立本旨講」の発展こそがお祖師様への報恩ご奉公となります。一人でも多くの人が、新本堂にお参詣できるように根気よくお助行を続けましょう。

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

「開講本旨再興日尚上人
報恩御奉公成就」

「佛立本旨講妙應寺
弘通隆昌発展」

の祈願の意味を繰り返し班内、家族に伝え、この祈願の理解者を増やしその輪を広げましょう。

「開講本旨再興祈願」朝参詣週間

1日(土)から7日(金)

「開講本旨再興祈願」口唱会

30日(日) 午前9時半

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

16日(日) 高祖会

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

15日(土) 高祖会準備ご奉公
午前9時半

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

9日～15日 高祖会無事奉修祈願朝参詣週間

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

1日(土) 高祖会準備ご奉公
午前9時半

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

15日(土) 高祖会準備ご奉公
午前9時半

「佛立本旨講弘通隆昌発展」

30日(日) 午前9時半

10月の寺内行事予定表

1日～7日 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(土) 開講本旨再興祈願総講

午前10時半

1日(土) 運営会議

午前12時半

8日(土) 連合幹事会

午前9時半

// 後続者育成係連絡会

午前10時半

9日～15日 高祖会無事奉修祈願朝参詣週間

15日(土) 高祖会準備ご奉公

午前9時半

16日(日) 高祖会

二、高祖会

今年の高祖会は10月16日(日)

二座にわたって奉修されます。

第一座 午前10時

第二地区・第三地区・妙証会

第二座 午前11時半

第三地区・第一地区・特別教区



昨年は四番町仮道場で奉修。
第一座は益田照固師のご法門を聴聞。

大勢のお参詣者によって報恩

感謝のお会式を盛大に奉修させ

ていただきます。尚、9月

24日(土)までに教区でまとめ

て、奉修費・お花料・お供米料

は寺務所にお納めし、参詣予定

者数は受持ちお講師に報告して

下さい。

三、「赤い羽根共同募金」 について

妙應寺では、長年社会福祉活

動として赤い羽根共同募金に協

力させていただいております。

皆さまのご理解とご協力をお願

いします。



第一座 午前10時

第二座 午前11時半



将引はがきを
ご活用ください

17日(月) 開導聖人御命日総講

午前10時半

25日(火) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

正副教区長会

午後12時半

30日(日) 開講本旨再興祈願口唱

会 (担当: 第三地区)

午前9時半

31日(月) 赤い羽根共同募金締切

四、静岡聞信寺団参

11月6日(日)は、聞信寺高祖会に団参です。当番参詣は第三地区の皆様です。大勢でお参詣させていただきましょう。他地区の方々も応援させて頂きましよう。

五、信徒講習会の予告

本年度第二回信徒講習会を下記の通り開催いたします。
テーマは「口唱の仕方」と「百日参詣体操」です。多くの信徒の方々が、誘い合って、都合をつけて受講しましょう。
11月9日(水)午前9時半
11月13日(日)午後12時半
11月19日(土)午前9時半

六、七五三無事養育成長

御礼言上式の予告

11月20日(日)午前11時より本堂にてお礼言上させて頂きます。お助行をして該当するご家

族に参詣をすすめて下さい。

毎月のお総講で無事養育成長の御祈願を頂いているお礼をさせて頂いていきましょう。

新本堂開筵式を盛大に、お祝いは船上で

来年、平成29年4月23日(日)に新本堂の開筵式を、日尚上人祥月御命日法要に併せて、奉修させて頂いていただきます。

また、お祝いの会は「東京湾クルーズ船」を借り切って行なう予定です。詳細は改めてご案内させて頂きますが、大勢で、

特に若い方を将引して参加させて頂いていきましょう！

なお、前日の22日(土)に事教院六角堂で日尚上人祥月御命日法要・佛立本旨講創立記念式の奉告式を奉修いたします。

日晨上人のご奉公を学んだ 三十三回忌法要

8月
26

昭和59年、法寿84歳で御遷化された日晨上人の御三十三回忌法要が奉修されました。

本堂では、御看経と、御導師をはじめとする親族の方々のお焼香が行なわれました。

轉教増刊号で紹介した日晨上人の御一代記をビデオでま



震災・戦災からの復興に立ち上がる日晨上人（イメージ図、ビデオより。ビデオはこちらから）
<https://youtu.be/zDmYkXMy5es>



ご信者さんは1階ホール特設のお焼香台で

め、震災・戦災を乗り越えて渋谷・乗泉寺を創設された数々の偉業を見ていただきました。

恒例の日晨上人のご法門は、ご教歌「うそでない法華の御文まこと也 福をとる手は欲をはなせよ」を基にして「嘘ついてもいけません」ということを改めて教えていただきました。昭和52年のお総講での録音です。

【お参詣者の感想】

スライドが分かり易く乗泉寺の歴史とか現在までのつながりが分かってよかった。ご法門も説得力がありびっくりした。

水戸教区 Gさん

昔、青年会の頃お会いした懐かしいお声をお聞きして良かったです。随分若い時からご住職をなさり、戦後ご弘通に尽力なさったことがよく分かった。

栃木教区 Kさん

轉教特集号に詳しく書いてあることを、ナレーターが優しい声で、見ていてわかりやすかったスライドでした。

長野教区 Tさん

楽しかった
蓮華会・
くんげ会
合同御講



新本堂に移転して初めての蓮華会・くんげ会、夏の合同御講が奉修されました。

夏休み時間中とあって元気なお子さんが沢山お参詣しました。悪天候の予報を吹き飛ばしたお計らいもいただきました。

第一部は御看経と御利益談の発表。16頁掲載のさがみ原教区のM君の御利益談はしっかりとした成長を感じる立派なものでした。

第二部は、布生地のおバッグでオリジナルバッグ作りです。色

を塗ったり、星形やストライプ、インシヤル的なものや、アンパンマンや自分の手形をデザインしたものもありました。夏休みの最後に良い思い出になったと思います。その後、レクレーションゲームを楽しみました。

次回は、12月の冬の合同御講です。お楽しみに。

品川教区 Kさん

平成28年8月の寺内行事報告

- 1日～7日 開講本旨再興祈願 朝参詣週間
- 1日(月) 開講本旨再興祈願総講 午前10時半から奉修
- 6日(土) 運営会議 午前9時半から開催
- 7日(日) 夏季総回向 午前10時から奉修
- 13日(土) 高祖大士御命日総講 午前10時半から奉修
- ” 連合幹事会
- ” 午後12時半から開催
- ” 後続者育成連絡会 午後1時半から開催
- 16日(火) 日晨上人御三十三回忌 法要奉修費、参加人数、お塔婆申込締切

竜の御法難記念5時間直唱会

9月4



9時半から14時半までの5時間法鼓に合わせた熱心な口唱が響く

5時間という長丁場でしたが、それが苦にならない、こんな感想をいただいております。

- ・御宝前が身近に感じられ、お尊像の位置も首が疲れないちょうどよい高さです。
- ・新本堂では、椅子の間隔が広

く足元がゆったり。
 ・天井も高く、気持よく御看経をあげていると、5時間があっという間でした。
 実際、途中で立つひともし少なく、御法難を偲ぶ沢山の御看経をあげることができました。

竜ノ口余話

刑場に引き立てられる途中、鶴岡八幡宮で「いかに八幡大菩薩は誠の神であらうか？」日蓮、首切られて靈山浄土へ参らば、天照大神正八幡は願いを聞き入れぬ神だと、救主釈尊に申し上げるといたそう」と当時の政権の源氏の氏神を叱りつけたのです。



17日(水)	開導聖人御命日総講 午前10時半から奉修
21日(日)	開講本旨再興祈願口唱会 午前9時半から奉修 くんげ会・蓮華会合同御講
25日(木)	午前10時半から奉修 門祖聖人御命日総講 午前10時半から奉修 正副教区長会
27日(土)	午後12時半から開催 日晨上人御三十三回忌 法要準備ご奉公
28日(日)	午前9時から実施 日晨上人御三十三回忌 法要
7日(日)	午前10時半から奉修 夏季総回向

事教院六角堂行事

高祖会 数々の法難を
乗り越えられた

日蓮聖人



日蓮聖人は弘安5年
(一二八二年)十月十三日に池
上の地にゆみづで入滅にやめつなさいます。

上行菩薩じやうぎやうぼつのお生まれ変わり、
末法救済まつぽうきゆうさいの総導師そうどうしとなって上行
所伝まうでんの妙法をお弘めになった日



福原三昧堂での苦難の生活
それ中でも御信者が増えました

蓮聖人への報恩のために営まれ
る法要を高祖会といっています。古
くは報恩講ほうおんこうとも言われていまし
た。本門佛立宗では明治14年
(一八八一年)の高祖六百回御
遠諱とんげんが高祖会奉修の始まりだつ
たようです。

佛立本旨講妙應寺では、毎年
の十月十三日前後の日曜日に高
祖会を奉修させていただいてい
ます。今年は十月十六日の奉修
です。報恩の思いで家族そろつ
てお参詣さんぎしましょう。

今年の高祖会では、「日蓮
聖人物語 佐渡流罪さどるざいと『観かん

心本尊抄しんほんぞんしょう』と題したビデオを
用意しております。「大難四か
度小難数を知らず」といわれる
ほど迫害を受けても信念を曲げ
なかつた日蓮聖人。数多い法難
の中から、佐渡流罪さどるざいについて理
解を深めましょう。

その酷寒に耐えながらも妙法
蓮華經の真実を証明しようとす
る日蓮聖人の信仰に畏敬の念を
はらつて現代の寒中一ヶ月間の
寒参詣さんぎを行っています。

更に、二年半に及ぶ佐渡の
地で多くの著作をされた中
から、重要な、「開目抄かいもくしょう」と
「勸心本尊抄かんしんほんぞんしょう」について簡単な
解説をする予定です。お楽しみに！



団参でゆく静岡・関信寺をご紹介します。現在の本堂は、昭和61年4月に完成。平成3年3月に日尚上人のご親修により開筵式を奉修しております。住職志田照堅師は平成12年3月に就任されました。

静岡・関信寺でも高祖会を!



天気が良ければ富士山が目の前。バスの中では、ご信者仲間と語らいながらの交流も楽しいひと時。同志寺院のご弘通にお役に立てる団参に奮ってご参加ください。

ホームページが開設されます

妙應寺のホームページを10月中旬ごろ開設いたします。佛立本旨講の教義と歴史を広く知っていたいただき、次世代・後続者への信行相続に活用願います。これにともない、御導師メールおよび教務部、事務局のメールお



アドレス <http://myooji.com>
御導師メールは、
nitizai@myooji.com から配信

ドレスが変更になります。詳細は別途ご連絡いたしますので、受信設定の一部変更をお願い致します。詳細は、総務部情報事務課か購入されたショップにお問い合わせください。

なお、ホームページでは、「寂光の道しるべ」を分かりやすく解説します。それに添える絵手紙を募集します。日常信行31話のタイトル等に素敵な季節を添えて事務局あてご応募下さい。

鼎談

轉教二百号を振り返って(第一回)

日在御導師、久米勲、鳥海早智子

平成12年4月に装い新たにスタートした「轉教」の歴史、今日の役割と期待を御導師、久米前編集長、中里教区の鳥海さんに語っていただきました。3回にわたって掲載します。

創刊二百号へ「轉教」の道程

御導師 「轉教」の十月号が創刊二百号になるんです。その二百号記念ということで今までを振り返っていただいたり、今後の「轉教」の在り方のご意見を頂きたいと思えます。今回調べましたら、「泉の光」の創刊が昭和四十一年八月、今年は丁度五十年なんです。新乗泉寺が



日在御導師

出来た時なんですよ。創刊号を見ると、佐藤栄作の書で「備えあれば患いなし」とか、文部大臣の中村梅吉が「道」だとか、労働大臣大橋武夫の記事だとかいうように、社会問題が多く、そこに信心の話題がくっ付いていたような物だったんですね。さらに驚くことは定価八十円で

ギャラリー



刺繍画、写真を。歴代ご奉公者のすばらしい作品です。

平成 26 年 4 月号



売って、しかもいろいろの宣伝が載っているんです。ほとんどが信者さんの会社関係のお店の宣伝です。これが、「泉の光」に

ですネ。ところで、「轉教」は平成十二年が最初でしたよネ。
鳥海 私、家から創刊号を持つてきました。

御導師 そうそう、これが創刊号！ よくお持ちでしたネ。

鳥海 私、全部捨てないでとっております。

御導師 へー。

鳥海 最初は、自分の教区のご奉公や行事を書き込めるようなメモ欄もありました。これを一冊持つていけば、信者宅にお伺いした時にお寺のことも、教区の事も話すことができました。結構便利だったんですけど、いつの間にかなくなりました。

御導師 「轉教」から久米さん



平成12年4月創刊号

覚えてますか、表紙を飾った、イラスト、スケッチ、東



久米勲さん

が全面的に担当されたんですネ。

久米 いえ、もっと以前からで、平成五年二月号の「泉の光」からです。担当してから二十三年になりました。

御導師 「泉の光」から、「轉教」に代わるその時の思い出がありますか？

久米 「泉の光」の前から「乗泉寺通信」というのがありました。妙應寺になってから「妙證

山報」になりました。ですから、「泉の光」と「妙證山報」が並行してあったのです。それを一本に纏めたのが「轉教」です。なぜ一本化したのかというと、面倒くさい！ というのがきつとあったんでしょう笑。それと経済的問題ですネ。まあ、そちらの方が大きいですか。

それで、日晨上人の創められた「泉の光」というのは、例を出すのは申し訳ないが、創価学会の「潮」と一緒に、創価学会だけども中身は「中央公論」や「文藝春秋」と同じ総合雑誌ですから。日晨上人は「泉の光」を総合雑誌として編集、そこに弘通の思いを込めたページを少

し付けて広めていこうという考えだった。それを続けてきたわけですが、専門のセクションとスタッフがちゃんと編集しなければ曖昧な物になっていってしまう。「潮」の場合は「潮出版」という出版会社がついている。「泉の光」はそういう体制になっていない、編集者もない状況でしたので、きちんとした編集活動も出来てなかった。原稿も業者から買ったりして、とりとめのない雑誌になっていってしまった。

そこで、本門佛立宗乗泉寺のオピニオン雑誌としての形を整えようということで途中から変わっていきました。しかしそれ

もやはり中途半端だった。そして、あの騒ぎの時に、清聞師から話があり、当時の編集担当者（信者）が風邪をひいたとかで割り付け作業ができないので、誰か一カ月だけ手伝ってくれと頼まりました。ところが、その編集担当者は退転して世田谷に行ってしまったので、一カ月のつもりが二十三年携わることになったということです。

御導師 そういう経緯があったんですか。

久米 束ねて二十センチ位もある原稿で、中身も整理されておらず、普通だったら二〜三日で出来る割り付けに一週間もかかりました。そして、だんだんハッ

キリした雑誌となつていったと思います。ですから、乗泉寺、後に妙應寺の信者の信心の基本である事を、どういふふうに確認したり、教え伝えていったらいいのかという雑誌としての役割は、騒動の頃から、そして「轉教」になつてから顕著になつたのではないのでしょうか。

御導師 そうですね。ということは、最初「泉の光」が狙つた



鳥海早智子さん

ような総合雑誌、書店に置いてもらうような物はちよつとやりきれなかつた。今振り返つても、やはり貰つてきた原稿だけでは続かなかつた。おっしゃるように、ごく自然の形で内輪の信仰のテキストとなつた。また、文部大臣だとか日本青年育英会会長など、国家社会を論ずるような文章が最初に寄せてあるのを見ると、当時はそのような空気が残つて見られるというのは凄いですね。そうなのか、あの当時はそうだったのかという空気がここにありますから、やはり記録誌の保存というのは大切なんですネ。

（以下次号）

祖母の病に教わる

さがみ原教区 M君

朝、元気に僕を見送ってくれた祖母が入院。段々息苦しそうになつていく祖母の姿を思い出して不安になってきました。その日の夜、病院に行くと肺炎をこじらせて、苦しそうな祖母の姿に大変ショックを受けました。祖母は10年前から肺がんを病んでいて心配でしたが、いつも僕の為に早朝から、帰宅が夜遅くなるときも起きて待っていてくれたので重篤な身体の状態

を理解することが出来なかったのです。それからは、学校帰りにお寺参詣して2時間位、祖母のことを祈願しました。新本堂でお参りしている間、祖母にも新本堂へお参りさせてあげたいという思いが募りました。

今できることは御看経しかない、仏様に御祈願することが、祖母にとつても一番よろこんでくれることだと思いました。願が通じて、見る見るうちにしっ

かりと話せるまで元気になりました。皆さんが御祈願やお助行をしてくださったことを家族が報告した日から急によくなったのです。おすがりする御信心の力に、とつても驚かされました。祖母は、僕たちに御祈願やお助行によつて、お計らいを頂く姿を見せるため、病気になったのかと思えるくらい元気になり、無理だと思われた新本堂のお参詣も成就できました。

今回、僕はその御利益の凄さを、皆に伝える役目があると感じました。この先、色々あると思いますが、どんな時もお計らいを信じて、お題目で乗り越えていきたいと思いました。

新本堂万歳

長野教区 Tさん

今回の開導会に、我家では家内と二人で参詣させて頂きました。新本堂の参詣は初めてなので心が躍ります。

J R 山手線の巣鴨駅を降り、新本堂を目指して足早に。早く見たくて心が急せいでいました。駅から歩いて約7分、閑静な住宅地のなかに行きました。到着すると、御奉公者の方が入口で声を掛けて下さり、地下一階の受付へ案内してくれました。そ

こは、待合室も兼ねており、第二座に参詣する御信者さんが大勢。しかし、室外には、その話し声が漏れないのが不思議でした。

本堂に案内され、目黒のお寺以来の御本尊と御尊像に久しぶりに御出会いして、身の引き締まる思いです。本堂の御本尊と御尊像も信者席から間近に感じられて、御看経も今まで以上に気持ち良くありがとうございました。

地上二階の御供養場もゆったりしているせいか時間を掛けて御供養を頂くことが出来ました。また、階段と併設してあるエレベーターもあり、お身体の不自由な方や、ご高齢者の方にも参詣しやすいのもありがたいものです。

とにかく立派な法城なので感激しました。これからの御弘通の根本道場としての佛立本旨講妙應寺が、この地に建立されたのだと実感しました。

10月の高祖会には、私たち夫婦二人だけでなく、娘夫婦や孫たち、そして、二人の息子共々御参詣できます様に、今から御祈願を掛けたいと思います。

四世代のご信心を目指して

第二地区長 嶋村直子

荏原教区、Sさん（90歳）の
お宅で後継者育成係のお助行を
させていただきました。

今回も、栃木にお住まいの息
子さん、Yさんも来られて、お
部屋の掃除を手伝い、お参詣の
みなさんを待っていてください
ました。Yさんは、高齢のSさ
んを気遣って、お講等の時に手
伝いに来ています。ニコニコし
て一緒にお看経をしてしてくれま
した。

Sさんは、20歳の時に入信、
その後にご両親をお教化されて

います。Yさんにも栃木で御本
尊をお祀りさせていただいてお
り、これからは、Yさんのお二
人の娘さん、Sさんにとつての
お孫さんまでの四世代のご信心
ができるように願っております。

ここのところ、轉教9月号で
もご紹介されましたように事務
局長さんの娘さんに御本尊をお
祀りさせていただき、嬉しく
思っております。これからは少
しずつ、後継者を育成して、ご
弘通のお役に立てるよう皆で頑

張ろうと話合っています。

今日は、お助行に沢山の参加
をいただき、元気にお看経をさ
せていただきありがとうございます。

9月9日は第二地区の錬成会
です。家族を将引して大勢で参
加いたします。



★こどもたちの会★

「お助行で利益もいただこう！」

<p>南〇～経!</p>	<p>えっ?! 私かですか?!</p> <p>ありがとうございます。もし良かったら、御導師のお助行をお受けして頂けませんか?</p>
<p>はい前向きに頑張っている所です。</p> <p>御持御本尊拜受のご祈願が掛かっていますか...</p>	<p>でも今、再就職先からの連絡各待ちの状態...お受けした日に面接なんて事も...</p> <p>そうだったんですか。</p>
<p>ありがとうございます。</p> <p>娘さんもぜひ一緒にご祈願やお看経が上かると良いですね。</p>	<p>わかりました!お受けさせて頂きます!!</p> <p>それでも大丈夫ですから、どうでしょう?</p>
<p>お陰様で仕事も決まり、働き始めた所なんです!!</p> <p>それはまた良いご利益を頂きましたね!</p>	<p>とは言っても、もし面接と重なってお断りする事になったらとんでもない!今日からご祈願しなくちゃ!!</p> <p>直感と思っ</p>
<p>お助行をお受けしたら、自分の信心を見直す良いきっかけになりました。</p> <p>それは本当に良かったです!信心相続にもつながると良いですね。</p>	<p>南〇～経</p> <p>お見送りの時、毎日お助行の無事成就の祈願をさせて頂きました。</p>

